

算数

名前

丸つけ・直しまでやった場合は日付を記入。やれなかったものには×をつけよう。

基本メニュー (☆☆☆) 全員が必ずやるべきもの	日付	
① 第44回～第46回 復習用 スタンダード例題まで (必ず次の授業までに行う)	44回	45回
	46回	
② 第44回～第46回 復習用 基礎演習 (できるだけ次の授業までにやる。間に合わない場合、冬期講習中が目安)	44回	45回
	46回	
③ 第44回～第46回 復習用 家庭学習Aプリント (冬期講習中が目安。次の授業までに終わらせる必要はない)	44回	45回
	46回	
④ 5年基礎力養成問題 12月号・1月号 日付にあわせて1日1ページ		

応用メニュー (☆☆) 余裕があればやるもの(Gクラスは必須)	日付	
① 第44回～第46回 復習用 ハイレベル例題 (授業でハイレベル例題を扱った場合、その問題は☆☆☆) (できるだけ次の授業までに取り組む。)	44回	45回
	46回	
② 第44回～第46回 復習用 家庭学習Bプリント (授業でハイレベル例題をすべて扱った場合、Bプリントは☆☆☆) (できるだけ次の授業までに取り組む。間に合わない場合、冬期講習中が目安。)	44回	45回
	46回	
③ Gラボ算数(入試問題に挑戦) QRコード記載の入試問題		

応用③は概ね冬期講習の単元に対応しています。できれば問題を見たら再生を中断し、紙やノートに解いてから視聴してください。

動画QRコード

第44回



第45回



第46回



次のページにも案内がございます。

担当からの連絡

冬期講習中は「場合の数の復習」「図形上の点の移動」「ご石を並べる問題・計算の工夫」を扱います。当日学習した内容は翌日までには復習することが望ましいです。宿題の基本・応用メニューはクラスによって異なります。授業中に指示されたものに取り組んでください。

第44回「場合の数の復習」は、スタンダード例題はどれも入試問題のレベルの場合の数を解いていくために必要な基礎的な内容になっていますので、必ず自分の力で解けるようにしておきたいです。

第45回「図形上の点の移動」の図形上の点の移動は、速さと図形の複合問題なので、単元として難しめです。ただし、「3つのポイント」を押さえておけば、スタンダード例題は難しくありません。その際、問題文を読んで情報を図に整理するようにしましょう。

2点以上の図形上の点の移動は、「池の周りを回っていく旅人算」と似たようなものです。「スタート時に何cm(度)はなれている(先の地点にいる)のか」「それぞれの点がどの向きに進むのか」、「(旅人算の)お見合い編を用いるのか追いかけ編を用いるのか」といった点を考えながら取り組みましょう。10回目に出会うのは何秒後など、大きな数字を聞かれたときには、小さな数字(1回目と2回目など)を調べて、周期を考えて計算しましょう。

第46回「ご石を並べる問題」は出題頻度が高いわけではありませんが、一度はやっておく必要がある分野です。外側のご石の数を求めるときは風車分けができるようになりましょう。どのようにご石が並んでいるかイメージができると良いです。

「計算の工夫」は家で解いてみて、正解していた問題でも解説を読んで計算の流れを確認しましょう。扱う問題は担当の先生の指示に従ってください。難関校ほど計算力が必要となり、複雑な計算を短時間に処理できることが不可欠です。日頃から問題を解く際には計算を工夫して解くことは意識しておきましょう。